



## 著者プロフィール

村上喜代子（むらかみ・きよこ）

- 1943(昭18)年7月12日 山口県下関市内日町に生まれる。  
1966(昭41)年 広島大学教育学部卒。  
1976(昭51)年 大野林火主宰「濱」に入会・師事。  
1981(昭56)年 俳人協会会員となる。同年度、「濱」賞受賞。「濱」同人。  
1982(昭57)年 大野林火逝去。その後、「濱」主宰松崎鉄之介に師事。  
1991(平3)年 第一句集『雪降れ降れ』上梓。同句集により第15回俳人協会新人賞受賞。  
1994(平6)年 大串章主宰「百鳥」創刊、編集同人となる。俳人協会幹事、日本文藝家協会会員。  
1997(平9)年 第3回「百鳥」鳳声賞受賞。  
2001(平13)年 第二句集『つくづくし』上梓。  
2004(平16)年 『現代俳句新世紀・下巻』（自選200句とエッセイ）  
2005(平17)年 「百鳥」退会。「いには」創刊、主宰。  
2009(平19)年 第三句集『八十島』上梓。  
2010(平22)年 俳人協会自註現代俳句シリーズ『村上喜代子集』上梓。  
2013(平25)年 第四句集『間紙』上梓。  
2015(平27)年 現代俳句文庫『村上 喜代子集』上梓。  
2019(令和元)年 第五句集『軌道』上梓。  
2024(令和6)年 評論集『大野林火論 ―抒情とヒューマニズム』上梓。同書により第39回俳人協会評論賞受賞。

その他、ユウカリが丘産経学園で「俳句入門A」「俳句入門B」、NHK文化センター千葉で「俳句を楽しむ」などの講座の講師を務める。

俳人協会評議員、日本文藝家協会会員、俳人協会千葉県支部・支部長、千葉県俳句作家協会理事、八千代市俳句協会会長。

〈『大野林火論 ―抒情とヒューマニズム』より転載〉  
〈2024年8月21日時点〉